

質問 観光宣伝推進事業について、大鹿魂祭の会場を大湯環状列石とした理由は。

答弁 市が推進するヘリテージ・ツーリズムを視野に入れ、市の文化や歴史を観光客に向けてPRをするため、大湯環状列石を会場に開催した。今回の結果を分析し、今後のあり方を検討する。

質問 魅力ある消防団入団促進事業について、鹿角市消防団のホームページは、新規団員の確保にどの程度の効果があったと捉えているか。

答弁 令和4年11月にホームページを開設した。閲覧件数は令和5年10月の時点で1万6300回ほどとなっている。

ホームページを見て入団をしたとの情報はないが、例年20人以下だった入団者数が、令和4年度は22人となった。活動状況や入団した際の処遇なども掲載しており、これらを参考に入団いただいたものと捉えている。

質問 大雨被害を受けた農地や施設の復旧状況は。

答弁 農地・農業用施設及び林業施設災害復旧事業については、国から55件の査定を受けており、そのうち完成が9件、施工中が15件で発注率は43%となっている。発注できなかったものについては、今年度に繰り越しているが、それでも入札不調となった工事は、翌年度へ繰り越すこととなる。早期に完了するよう検討していく。

鹿角市消防団のホームページ



質問 市の借入額は減少しているようだが、今後の推移をどのように捉えているか。

答弁 適正な財政運営により、借入額を償還額が上回っており、借入額は減少している。今後の地方債残高の推移は令和6年度までに160億円台後半となり、その後は毎年約5億円ほど減少していくと見込んでいる。

一般会計全体への意見

第7次総合計画、第2期鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略の2年目となる令和4年度決算について、人口構造の若返りと持続可能な地域社会の形成を目指す事業が展開され、かつ市の財政指標も健全な状態であり、市の取り組みは高く評価される。

ポストコロナにおける社会経済の活性化が期待される一方、物価高騰の影響や人口減少による将来への不安など複雑な問題が顕在化し、地域経済への影響も無視できない状況にあるため、国内外の動向を把握しながら、課題解決に向け挑戦していただきたい。

国民健康保険事業特別会計

質問 糖尿病重症化予防事業の効果は。

答弁 全4回の講座で、初回と最終回に検査を行い、測定した数値の比較を行っている。参加者の数値は平均的に改善し、アンケートでも好評をいただいている。

介護保険事業特別会計

質問 介護保険施設へ入所を希望する待機者数は。

答弁 令和3年度の待機者数は145人で、令和4年10月時点の待機者数は176人となっており、前年度から増加した印象だが、いざというときにすぐに入所できるよう早めに利用申請する傾向にあるようだ。

なお、入所に関しては審査を行い、必要性の高い方から順次利用いただいている状況である。